

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【公表番号】特表2013-522276(P2013-522276A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2012-557545(P2012-557545)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
C 0 7 K	14/82	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	Z N A
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/00	G
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	31/7088	
C 0 7 K	14/82	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月28日(2013.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

SEQ ID NO 1からSEQ ID NO 10、SEQ ID NO 20およびSEQ ID NO 24から成るグループから選択されたアミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチド、および／または

SEQ ID NO 1からSEQ ID NO 10、SEQ ID NO 20およびSEQ ID NO 24と少なくとも85%同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも2つのペプチド、および／または

SEQ ID NO 1からSEQ ID NO 10、SEQ ID NO 20およびSEQ ID NO 24またはこれらの変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチド、および薬剤的に認容される担体を含む、薬剤組成物。

【請求項2】

SEQ ID NO: 11からSEQ ID NO: 22から成るグループから選択されるアミノ酸配列を含む少なくとも1つの追加ペプチド、または

SEQ ID NO: 11からSEQ ID NO: 22と85%以上同一の変異アミノ酸配列を含む少なくとも1

つの追加ペプチド、または

SEQ ID NO: 11からSEQ ID NO: 22またはこれらの変異アミノ酸配列をコードする核酸を含むポリヌクレオチド

をさらに含む、請求項1に記載の薬剤組成物。

【請求項3】

ペプチドの全長が、8～100アミノ酸長、8～30アミノ酸長、または8～17アミノ酸長である、請求項1または2に記載の薬剤組成物。

【請求項4】

少なくとも1つのペプチドは非ペプチド結合を含むものである、請求項1～3のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項5】

SEQ ID NO 1からSEQ ID NO 22およびSEQ ID NO 24のアミノ酸配列から成る少なくとも2つのペプチドを含む、請求項1～4のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項6】

2つのMHCクラスIペプチドのうち1つは、SEQ ID NO 1のアミノ酸配列およびSEQ ID NO 11のアミノ酸配列を含む、または

2つのMHCクラスIペプチドのうち1つは、SEQ ID NO 2のアミノ酸配列およびSEQ ID NO 11のアミノ酸配列を含む、または

2つのMHCクラスIペプチドのうち1つは、SEQ ID NO 3のアミノ酸配列およびSEQ ID NO 11のアミノ酸配列を含む、

少なくとも2つのMHCクラスIペプチドを含む、請求項1～5のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項7】

組成物に存在するペプチドの選択が、数が、および／または量が、組織特異的、がん特異的、および／または患者特異的である、請求項1～6のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項8】

1018 ISS、アルミニウム塩、Amplivax、AS15、BCG、CP-870,893、CpG7909、CyaA、dSLIM、GM-CSF、IC30、IC31、イミキモド、ImuFact IMP321、IS Patch、ISCOMATRIX、JuvImmune、LipoVac、MF59、モノホスホリルリピドA、モンタニドIMS 1312、モンタニドISA 206、モンタニドISA 50V、モンタニドISA-51、OK-432、OM-174、OM-197-MP-EC、ONTAK、PepT eIベクター系、PLG微粒子、レシキモド、SRL172、ビロソームおよび他のウイルス様粒子、YF-17DBCG、Aquila's QS21 stimulon、Ribi's Detox. Quill、Superfos、フロイントアジュバント、GM-CSF、コレラ毒素、免疫学的アジュバント、MF59、およびサイトカインから成るグループから選択される、少なくとも1つの適切なアジュバントをさらに含む、請求項1～7のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項9】

アジュバントが顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)を含むコロニー刺激因子、イミキモドおよびレシミキモドから成るグループから選択される、請求項8に記載の薬剤組成物。

【請求項10】

少なくとも1つの抗原提示細胞をさらに含む、請求項1～9のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項11】

抗原提示細胞は樹状細胞である、請求項10に記載の薬剤組成物。

【請求項12】

少なくとも1つの抗原提示細胞が、

a) ペプチドでパルスされている、もしくはペプチドを載せている、または

b) ペプチドをコードする発現構成物を含む、

請求項10または11記載の薬剤組成物。

【請求項13】

ワクチンが静脈内、動脈内、腹腔内、筋肉内、経皮、腫瘍内、経口、経皮、経鼻、頬側、直腸、経膣、吸入、または局所投与されるものである、請求項 1 ~ 12 のいずれか一に記載の薬剤組成物。

【請求項 14】

患者のがんを治療または予防するための医薬の製造における、請求項 1 ~ 13 のいずれか一に記載の薬剤組成物の使用。

【請求項 15】

薬剤組成物が抗がんワクチンである、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

がんは、胃癌であるか、または、前立腺癌、口腔癌、口腔扁平上皮癌 (OSCC)、急性骨髓性白血病 (AML)、ピロリ菌誘発性 MALT リンパ腫、結腸癌または結腸直腸癌を含む大腸癌、神経膠芽細胞種、非小細胞肺癌 (NSCLC)、子宮頸癌、ヒト乳癌、前立腺癌、大腸癌、膵臓癌、膵管腺癌、卵巣癌、肝細胞癌、肝臓癌、様々な表現型の脳腫瘍、急性リンパ芽球性白血病 (ALL) などの白血病、肺癌、ユーイング肉腫、子宮内膜癌、頭頸部扁平上皮細胞癌、咽頭上皮癌、食道癌、口腔癌、膀胱癌、卵巣癌、腎細胞癌、非定型髄膜腫、甲状腺乳頭癌、脳腫瘍、唾液管癌、節外性 T/NK 細胞リンパ腫、非ホジキンリンパ腫、もしくは肺と乳房の悪性固形腫瘍である、請求項 15 に記載の使用。

【請求項 17】

がんは大腸癌である、請求項 16 に記載の使用。